

二葉山自然環境保全対策検討委員会報告書
(概要版)

平成 15 年 10 月
広島高速道路公社

はじめに

広島高速5号線（東部線）は、平成10年度に計画に対する環境影響評価を行い、環境に与える影響は軽微なものとして、平成11年3月に都市計画決定されており、現在、広島高速道路公社が整備を進めています。

この路線は、シリブカガシ群落をはじめとする貴重な自然が存在する二葉山をトンネルで通過する道路です。そのため本公社では、今後のトンネル工事を行うにあたって、二葉山自然環境保全対策委員会を設置し、学識経験者の意見を聴きながら、二葉山の自然環境に与える影響について、さらに詳しい調査を実施いたしました。

この資料は、二葉山自然環境保全対策検討委員会で検討された内容について、概要をとりまとめたものです。

二葉山自然環境保全対策検討委員会委員名簿

委員長	関 太郎（広島大学名誉教授）
委員	飯山 郁子（山陽女子短期大学教授）
委員	佐々木 康（広島大学工学部教授）
委員	田中 昭男（元広島県立大学教授）
委員	中越 信和（広島大学総合科学部教授）

平成15年10月

広島高速道路公社

目 次

1. 目的	1
2. 広島高速5号線と二葉山	1
2.1 広島高速5号線の概要について	1
2.2 二葉山とシリブカガシ林について	3
3. 調査内容とその結果	6
3.1 植生の現況調査結果	6
3.2 生態系の現況調査結果	14
3.3 地質、地下水の現況調査結果	16
3.4 景観の現況調査結果	19
4. 影響の予測	20
4.1 トンネル工事による植物への影響	20
4.2 自然な遷移での植生の変化	30
4.3 トンネル坑口部工事による植物への影響	31
4.4 生態系への影響	33
4.5 景観への影響	34
4.6 影響予測結果のまとめ	35
5. 保全対策とモニタリング	36
5.1 保全対策	36
5.2 モニタリング	40
(参考)用語解説	43
(本文中に※1～※15と記された用語についての解説)	